

令和5年度 区域まちづくり事業 効果検証シート

		実施主体			
チャレンジアート事業		東区役所企画総務課			
事業目的	事業効果	成果指標	成 果		
			R3	R4	R5
アート創作の過程で子どもと保護者がふれあうことで絆を深めてもらう機会を提供し、また区民の芸術・文化活動への興味関心を深め、区域の芸術文化活動を活性化することに寄与することを目的とする。 また、募集した作品は東区役所で展示するとともに動画を公開し、広く区民が芸術・文化とふれあう機会を提供する。	・アート創作の過程でのふれあいを通じて、子どもと保護者の絆が深まる ・身近で活動する芸術家のアートに関する専門性の高い知識を活用することで、区民の芸術・文化に対する興味関心が高まる ・芸術・文化と身近にふれあう機会を提供することで、区民の芸術・文化に対する関心が深まる ・区民の芸術・文化に対する関心が深まることで、区域の芸術文化活動がさらに活性化	アンケートによる満足度調査(良かったの割合)	前半:98% 後半:100%	99%	98%
		応募人数(当初予定人数割合)	前半:112人/120人(93%) 後半:151人/120人(125%)	212人/200人(106%)	315人/300人(105%)
		応募シート・チラシの配付枚数 ホームページ閲覧回数	応募シート・チラシ: 2,368枚 ホームページ:991件	応募シート・チラシ: 1,214枚 ホームページ:850件	応募シート・チラシ: 561枚 ホームページ718件
①妥当性		②協働の視点		③インパクト	
○	芸術・文化にふれあえる機会や親子の絆を深める機会を創出し、区民の芸術・文化に対する関心の向上や子どもたちの豊かな感性の醸成など、地域全体の芸術・文化の振興を図る事業であるため、行政が実施すべき事業である。	○	区域で活動する芸術家たちと協働で事業を企画・実施している。	○	チャレンジアートでは、作品制作を通じた親子のふれあいの機会を創出している。また、区民が応募した作品(ぬり絵)を東区を中心に活動しているアーティスト達が灯籠に創作して展示するため、誰でも気軽に参加できる形であるため、幅広い年齢層へ広くPRできた。
④効率性		⑤自立発展性			
○	ぬり絵を区ホームページからダウンロードできるようにしたり、応募も電子申請システムを活用することで、自宅内でも完結できるような参加ハードルが低いイベントであり、チャレンジアートをPRできた。また、区役所健康ふれあいひろば(屋外)でイルミネーションと同時開催することで、芸術・文化に身近にふれあえる機会を創出し、事業をPRできた。さらに、展示風景動画を投稿することで、当日観覧できなかった方や後でイベントを知った方にも楽しめるようにすることができた。				
⑤自立発展性		総合評価			
△	地域全体で芸術に取り組む意識を醸成するために、現段階では行政主導で実施すべき事業である。	○	本年もコロナ禍前から実施内容および実施方法を変更した形で実施しているが、昨年度同様、応募定数を超えての応募があったことから、非常に人気かつ注目度のある事業である。参加者アンケート結果でも非常に満足度が高い結果となっている。参加内訳も未成年が半数を占めており、その大半が親子や祖父母と孫など、家族での参加である。また、未成年だけでなく、幅広い年齢層の方が参加され、気軽に参加できる身近なイベントであった事が分かる。次年度以降も、工夫・改善を加えながら継続して実施していきたい。		
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	チャレンジアートは区民の方からの満足度が非常に高く、区民の方から求められている事業であることがわかる。より多くの方や家族に参加いただけるように、企画内容および募集の方法等について工夫したい。次年度以降も継続・発展的に事業が展開できるよう、アートひがし実行委員会としっかり連携しながら、区民の皆さんが気軽に芸術・文化にふれあえる場となるよう工夫・改善に取り組んでいきたい。				